

令和8年度 「ひきこもり×メタバース」社会参加支援事業委託 企画提案書の評価基準表

	評価項目	配点(点)
事業実施方針	① 事業目的・内容の理解度 <ul style="list-style-type: none"> ・本業務の趣旨・目的等を正しく理解した上での提案になっているか。 ・提案内容の着眼点、構成が優れているか。 	/10
企画提案の内容	② バーチャルプラットフォーム及びワールド、アバターの仕様	小計 /40
	1. バーチャルプラットフォーム及びワールドの仕様 <ul style="list-style-type: none"> ・使用できるデバイスや動作性など、本事業の特性に応じたバーチャルプラットフォームが提案されているか。 ・プラットフォーム内には多くのワールドが存在しており、参加者がスムーズに行き来できるようになっているか。 ・他のプラットフォームとの相互運用の実績または運用可能と見込まれるプラットフォームが提案されているか。 ・ワールドにおいて、交流イベントや、こまりごと相談窓口などの区域が、参加者にとって安全・安心な環境を整えており、魅力的な仕掛けや工夫を凝らしたものとなっているか。 ・ワールドは、令和7年度の本事業で作成したワールドと同等以上のデザインクオリティとなっているか。 	/30
	2. アバターの仕様 <ul style="list-style-type: none"> ・参加者が使用できるアバターの外見は、選択肢が豊富で、魅力的なデザインとなっているか。 ・参加者が使用できるアバターの機能(行動・対話機能など)が充実しているか。 ・本事業独自のアバターやパーツの作成は、自由度が高く、事業に適したデザインとすることが可能か。 	/10
	③ コンテンツの内容	小計 /140
	1. 常設コンテンツ <ul style="list-style-type: none"> ・常設コンテンツがひきこもり当事者を含む青少年にとって魅力的かつ継続して参加しなくなるような仕掛けや工夫を凝らした内容となっているか。 ・常設コンテンツを利用して、参加者同士が進んでコミュニケーションを取れるような仕掛けになっているか。 ・参加者が少ない時でも孤独感を感じないようワールドを賑やかに見せる工夫や、イベント開催時以外も継続的な参加を促すような工夫が施されているか。 ・リアルタイムイベントを提案した場合、ひきこもり当事者にとって社会参加や就労のきっかけとなり、リアルタイムイベント以外でも継続してワールドに参加しなくなる内容となっているか。 ・リアルタイムイベントを提案した場合、実施時期及び実施頻度は合理的かつ適正か。 	/40
	2. 交流イベント <ul style="list-style-type: none"> ・受注者が配置するファシリテーターによる交流イベントについて、ひきこもり当事者を含む青少年等が進んで参加したいと思えるプログラムを企画し、適切なファシリテーターの配置を行っているか。 ・ひきこもり支援団体と連携した交流イベントについて、参加団体がメタバースを十分理解できる打合せ内容や、調整期間を考慮した適切なスケジュールが立てられており、ひきこもり当事者を含む青少年等が進んで参加したいと思えるプログラムが想定されているか。 ・発注者が主催する交流イベントについて、円滑に実施できるよう適切な補助方法が想定されているか。 ・交流イベント参加者に対する安心安全なコミュニケーションが取れるルール作りや、悪質な参加者に対する対処方法が適切であり、安心してイベントに参加できるか。 ・継続的な参加を促す仕掛け・工夫は、参加者にとって魅力的で、参加しなくなるようなものになっているか。 ・実施時期及び実施頻度は、合理的かつ適正か。 	/40
	3. こまりごと相談窓口 <ul style="list-style-type: none"> ・適切な相談員の配置を行っているか。 ・実施時期及び実施頻度は、合理的かつ適正か。 	/20

企画提案 の内容	4. 県内地域若者サポートステーションに係る空間の設置 <ul style="list-style-type: none"> ・本コンテンツ専用の空間について、地域若者サポートステーションの情報が見やすく掲示できる空間になっているか。 ・相談スペースは、参加者にとって安全・安心な環境になっているか。 ・地域若者サポートステーションスタッフが滞りなく入場できるよう、適切な操作説明やマニュアル等が想定されているか。 	/30
	5. 県内ひきこもり支援団体・大学など研究機関等への空間貸し出し <ul style="list-style-type: none"> ・適切な貸し出し方法が想定されており、スムーズな貸し出しが可能か。 	/10
	④ 周知活動(プロモーション) <ul style="list-style-type: none"> ・ワールドの開場期間中、参加人数3,500名以上になるための周知活動は、合理的かつ適正か。 ・交流イベントにおいて参加者を集めるための周知活動は、合理的かつ適正で、多くの参加者を呼び込める内容か。 ・こまりごと相談窓口への参加者募集方法は、合理的かつ適正で、ひきこもり当事者及びその家族等へ効果的に周知できる内容か。 ・県内地域若者サポートステーションの空間及び地域若者サポートステーションスタッフの入場予定日時に係る周知活動は、合理的かつ適正で、地域若者サポートステーションに興味を持ってもらえる内容か。 	/30
	⑤ 参加人数及びアンケート調査など集計方法 <ul style="list-style-type: none"> ・参加人数及びアンケート調査などの集計方法は、合理的かつ適正か。 ・参加人数から想定するアンケート回収率及び回収件数は適正か。 ・参加者が回答しやすいアンケート調査についての工夫が施されているか。 	/20
	⑥ セキュリティ上の配慮 <ul style="list-style-type: none"> ・利用規約や個人情報、セキュリティ対策が講じられており、参加者すべてに周知されている提案内容か。 ・参加者間で生じるトラブルへの対応策が講じられており、安心・安全に参加できるワールドになっているか。 ・バーチャルプラットフォーム運用上のサービスレベル（稼働時間/計画停止の周知・報告/定期メンテナンスの頻度/同時接続可能数/セキュリティログやアクセスログの取扱い/サービスデスク対応 等）は適切か。 	/30
事業実施 能力	⑦ 実施主体の組織体制・運営基盤 <ul style="list-style-type: none"> ・業務実施体制・組織体制が適切か。 ・具体的かつ無理なく実施できる全体スケジュールの提案になっているか。 	/10
	⑧ メタバースを活用した活動実績 <ul style="list-style-type: none"> ・過去に同種又は類似する事例に取り組んだ実績があるか。（過去の参加人数や運営期間等から、より参加者のニーズに合った事業の実現が期待できるか） ・メタバースでのコンテンツ発信にあたりノウハウの蓄積があるか。 	/10
費用対 効果	⑨ 経費見積りの妥当性 <ul style="list-style-type: none"> ・経費見積もりは提案事業に対して合理的かつ適正か。 	/10
合計		/300

点数基準

項目番号	特に優れている	優れている	普通	劣っている	特に劣っている
③-1、③-2	40点	32点	24点	16点	0点
②-1、③-4、④、⑥	30点	24点	18点	12点	0点
③-3、⑤	20点	16点	12点	8点	0点
①、②-2、③-5、⑦、 ⑧、⑨	10点	8点	6点	4点	0点